



マダニ感染症とは

マダニにかまれることで感染する「重症熱性血小板減少症候群」

2013年に山口県で初めての感染者が報告されて以降、主に九州、中国、四国地方で確認されていたが、今年に入り京都や北陸地方でも感染者が見つかりました。

マダニは秋にも活動するため、「森林や草むらに入る際は肌の露出を控える」よう呼びかけています。

	マダニ	一般的なダニ
生息地	森林、草むら、茂み	布団、カーペット
大きさ	2~3mm (テントウ虫位) 血を吸うと何倍にも膨れる	0.2~0.3mm (シャーペンの針位)
症状	噛まれた直後 赤く腫れる、かゆみ、体調の変化 数日から数週間後 38度以上の発熱、下痢、腹痛 血尿、頭痛、重症熱性血小板減少症候群など全身症状の悪化	噛まれた直後 赤く腫れる、かゆみ、体調の変化

*マダニ感染症に有効な薬剤やワクチンは開発されていません。

もしダニに噛まれたと思ったら早めに医療機関で受診して下さい。

平成27年9月7日（月）インターネットヨミドクターより

9月に入り、早3週間が経とうとしています。今年はいつになく、雨の降る日が多くすっきりしない日が続きましたね。

また、昨年はデング熱など、今まであまり知られていない感染症の流行がニュースに上りましたが、今年はマダニ感染症が頻発しているとのことでしたので、秋の行楽シーズンですが、十分注意しましょう。

平成27年9月18日（金）福島県立いわき翠の杜高等学校保健室発行

明日から期間休業に入ります。

事故に遭わないように生活してください。

前期期末試験も終わり、気が緩みがちになってしまいませんか、夏の疲れも出やすい時期もあります。

また、9月18日は前期終業式、10月1日は後期始業式になっています。
元気にまた登校してください。

東日本大震災から4年6ヶ月が経ちました。

もう一度考えよう「その時のために」

9月1日は防災の日でした。地震や洪水などの時に使う「非常用持ち出し袋」と怪我や病気の時に使う「救急箱」共通していることは、いつも必要というわけではないが、いざという時にはとても重要な役割を果たすことです。

いつ「その時」が来るかわかりません。だからこそ、しっかり準備しておきたいものですね。

「9月9日～9月11日関東から東北地方で記録的な大雨が
降り各県で甚大な被害を受けました。」

9月1日防災の日
もしもこのときに冷静に行動できるように
日頃から「防災」についての意識をしっかり持ってください。



9月16日（水）は「保健の日」でした。今年で3回目の実施となります。

生徒の皆さんのが、各自興味のある講座を選択し、講師の先生を交えて講話を聞いたり、実際に健康法を体験したりして健康な生活について、考えました。

講座の内容として、「心の健康」「思春期の性」「高校生の食生活」「健康な生活のために」「歯と口の健康」「身につけよう救急法」「将来の健やかな出産のために」がありました。

保健だより10月号からこれらの内容を順次載せていくたいと思います。